

# 塚越分署耐震診断結果について

## 1.塚越分署建物概要

住 所 : 蕨市塚越 4 丁目 1 番 9 号  
竣 工 : 昭和 50 年(1975 年)  
構 造 : 鉄骨造2階建・一部木造平屋建(増築)  
敷地面積 : 409.061 m<sup>2</sup>  
建築面積 : 215.32 m<sup>2</sup>  
延床面積 : 292.26 m<sup>2</sup>  
主要諸室 : 1F 事務所・車庫・仮眠室・浴室・食堂 2F 第一分団詰所・更衣室

## 2.耐震診断調査・判定団体

受 託 事 務 所 : 有限会社竹内建築設計事務所  
判 定 委 員 会 : 一般社団法人埼玉建築設計監理協会

## 3.実施日程

調査会社契約:平成 28 年 5 月 16 日(5 月 13 日入札)  
現 地 調 査 :平成 28 年 6 月 27 日 ▶  
判 定 委 員 会 :平成 28 年 9 月 27 日  
報 告 書 納 品 :平成 28 年 12 月 21 日



## 4.診断結果

構造耐震判定指標  $l_{so}=0.75 \cdot q=1.25$  (どちらも一般判定指標の 1.25 倍) のところ、  
 $l_s=0.178 \sim 0.620$ 、 $q=0.714 \sim 1.762$  であった。判定値を満足せず、補強が必要であるが、  
補強では必要な強度を得られず、建て替えが必要

## 5.今後の検討事項

スケジュール:現在は 3 年間で検討中(平成 31 年度建て替え)  
建て替え方法:基本は現地建て替えで検討中

資料 2-1

平成29年度消防本部所管歳出予算（案）の概要

(単位：千円)

区分	今年度予算額	前年度予算額	比較	
消 防 費	766,153	757,239	8,914	1.18%
01 常備消防費	711,401	709,522	1,879	0.26%
一般職人件費	632,419	631,012	1,407	0.22%
消防事務費	4,234	4,561	△ 327	△7.17%
消防・救急活動費	38,370	43,812	△ 5,442	△12.42%
職員研修費	5,833	5,852	△ 19	△0.32%
消防庁舎管理費	14,452	13,273	1,179	8.88%
消防庁舎等 改修事業	7,530	3,543	3,987	112.53%
消防車両管理費	8,563	7,469	1,094	14.65%
02 非常備消防費	16,669	16,384	285	1.74%
消防団員活動費	15,197	15,235	△ 38	△0.25%
消防団施設管理費	396	434	△ 38	△8.76%
消防団車両管理費	1,076	715	361	50.49%
03 消防施設費	2,168	3,654	△ 1,486	△40.67%
消火栓等維持管理費	838	897	△ 59	△6.58%
消火栓等整備事業	1,330	2,757	△ 1,427	△51.76%
04 水防費	708	708	0	0.0%
05 災害対策費	35,207	26,971	8,236	30.5%
一般会計歳出合計	23,690,000	23,260,000	430,000	1.85%
消防費の割合	3.23%	3.26%		△0.02%

(単位：千円)

27 年度	消防費合計の当初予算額	784,043	=	消防費の割合
	一般会計歳出合計の当初予算額	22,640,000		3.46%
26 年度	消防費合計の当初予算額	761,116	=	消防費の割合
	一般会計歳出合計の当初予算額	21,900,000		3.48%

## 平成29年度主な歳出予算について

## ○常備消防費・消防事務費

事業概要	予算額(円)
・備品購入費 庁用器具 (Tera ステーション)	159,840

## ○常備消防費・消防・救急活動費

事業概要	予算額(円)
・需用費 通信指令室無停電電源蓄電池交換	972,000
〃 指令伝送出力装置用無停電電源蓄電池交換	434,160
・備品購入費 庁用器具 (訓練用安全マット)	291,600

## ○常備消防費・職員研修費

事業概要	予算額(円)
・負担金補助及び交付金 エレベーター閉じ込め救出研修	40,000

## ○常備消防費・消防庁舎管理費

事業概要	予算額(円)
・需用費 自家用発電設備蓄電池交換修繕	1,075,680

## ○常備消防費・消防庁舎等改修事業

事業概要	予算額(円)
・工事請負費 女性消防職員用シャワー室改修工事	5,210,000
〃 自家用電気工作物高圧ケーブル交換修繕	2,320,000

## ○常備消防費・消防車両管理費

事業概要	予算額(円)
・備品購入費 庁用器具 (ドライブレコーダー)	39,960

## ○非常備消防費・消防団員活動費

事業概要	予算額(円)
・需用費 消防団員活動服 (新基準 54 着)	985,824

# 資料 3

## 平成28年中の火災・救急の概要について

### 1 火災について

#### ① 年別火災状況

平成29年1月1日現在

年 別	火 災 件 数								焼 損 床 面 積 (㎡)	死 者	負 傷 者
	合 計	火 災 種 別					車 両	そ の 他			
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					
28年中	20	13	1			12	1	6	48.8	2	2
27年中	18	10			5	5	1	7	57.4	0	1
前 年 比	2	3	1	0	-5	7	0	-1	-8.6	2	1

#### ② 地区別火災件数

年別	合計	錦町	北町	中央	南町	塚越
28年中	20	1	11	3	3	2
27年中	18	3	4	6	1	4
前 年 比	2	-2	7	-3	2	-2

#### ③ 火災原因

たばこの不始末	1 件	たき火	件	その他	1 件
コンロ	5 件	放火	1 件	不明	3 件
電灯・電話線等の配線	件	放火の疑い	8 件		
ストーブ	件	火遊び	1 件		
合計					20 件

### 2 救急について

平成29年1月1日現在

年 別		合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他
28年中	出動件数	3,786	33	0	0	254	25	16	531	51	48	2,642	168	18
	比率(%)	100	0.9	0.0	0.0	6.7	0.7	0.4	14.0	1.3	1.3	69.8	4.4	0.5
	搬送人数	3,294	1	0	0	221	22	16	482	34	26	2,322	168	2
	比率(%)	100	0.0	0.0	0.0	6.7	0.7	0.5	14.6	1.0	0.8	70.5	5.1	0.1
27年中	出動件数	3,585	41	0	0	262	16	21	537	42	38	2,434	176	18
	比率(%)	100	1.1	0.0	0.0	7.3	0.4	0.6	15.0	1.2	1.1	67.9	4.9	0.5
	搬送人数	3,092	2	0	0	235	16	21	472	28	21	2,120	174	3
	比率(%)	100	0.1	0.0	0.0	7.6	0.5	0.7	15.3	0.9	0.7	68.6	5.6	0.1
前 年 比	出動件数	201	-8	0	0	-8	9	-5	-6	9	10	208	-8	0
	搬送人数	202	-1	0	0	-14	6	-5	10	6	5	202	-6	-1

# 平成29年春季全国火災予防運動実施要綱

## 1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

## 2 防火標語 消しましょう その火その時 その場所で

## 3 実施期間

平成29年 3月 1日（水）から 3月 7日（火）までの7日間

## 4 本予防運動中の重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (3) 特定防火対象物における防火安全対策の徹底
- (4) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (5) 多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底

## 5 蕨市において実施する内容

- (1) 特定防火対象物等における防火安全対策徹底
- (2) 住宅用火災警報器の設置徹底及び適切な維持管理の周知また、たばこ火災・放火火災にかかる注意喚起広報を蕨駅改札にてPRする

※平成29年3月1日（水）16時～蕨駅改札に於いて実施予定

ワラビー君とじゃんけん大会（勝ったら記念品を！）

防火協会の協力を得て実施

- (3) 住宅用火災警報器の不適正販売の注意文を市の広報に掲載する
- (4) 蕨駅・市役所庁舎及び消防庁舎に火災予防横断幕・懸垂幕を掲げる
- (5) 防災無線により広報する
- (6) 住宅用消火器を始めとした住宅用防災機器等の普及促進
- (7) 消防車両・消防団車両・危険物運搬車両にてステッカーを貼付し、消防車両・消防団車両にて適宜広報する
- (8) 広報わらびに火災予防啓発文を掲載する
- (8) ホームページにて住宅用火災警報器の普及啓発する
- (9) わらびケーブルテレビにて火災予防運動を周知する
- (10) 住宅防火「いのちを守る7つのポイント」を活用し広報する

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント  
— 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

## 塚越分署建て替えに伴う消防庁舎視察について

草加八潮消防組合 西分署 草加市西町 108-2



谷塚ステーション 草加市谷塚町 525-2

敷地 520.20 m<sup>2</sup>

延床 371.31 m<sup>2</sup> (うち分団 69.29 m<sup>2</sup>)



※平成 29 年 4 月中～下旬を予定

寄贈軽消防自動車（消防団本部）

